



7月17日、猛暑の中、感染対策を徹底して行ったゆきとどいた教育をすすめる札幌石狩連絡会の署名宣伝行動

今年度も「教育全国署名」の季節がやってきました。少人数学級の実現や教育予算の拡充をめざして取り組んできたこの署名は今年で33年目。累計4億7千万筆に迫ろうとしています。この間、多大なご支援ご協

一刻も早く中・高の3・5人学級を



道高教組札幌支部
札幌市中央区大通西12丁目
高等学校教職員センター3階
TEL 011-271-5875
FAX 011-271-5895
https://koukyousapporo.jimdo.com/

力を頂いた皆様に、あらためて心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

コロナ禍の昨年は、全国に先駆け「#めざせ20人学級プロジェクト」にとりくみ、少人数学級実現を求め世論・運動に火をともしました。学校が子どもたちにとって安全・安心できる場所であることはもちろん、保護者にとっても安心して託すことのできる場所であるという社会的役割が再確認されるなかで、41年ぶりに義務標準法改正され小学校の3・5人学級が実現しました。また、過大化

学校の設置基準も策定されるようになり、教育条件の改善を巡って、大きな前進が生まれました。引き続き、中・高校の3・5人学級を急がせるとともに、先進諸国では当たり前前の20人以下の少人数学級を展望して教職員を増やし、教室数の余裕ある学校規模の実現等を、少子化時代・コロナ禍の優先課題として求め運動を進めていきます。

この間、私たちのすすめる署名運動は、少人数学級の推進とともに、高校授業料不徴収・長年留保されてきた国際人権A規約「無償教育条項」の政府批准、給付制奨学金制度拡充など、「お金の心配しないで学びたい」との願いに添えてきました。しかし現実には、学生へのフードバンク運動や生理用品無償配布のとりくみなどがクローズアップされるなど、コロナ禍が貧困と格差の拡大に拍車をかけています。日本の教育予算が諸外国に比べると極め

て貧弱で、教育に対する公財政支出の対GDP比はOECD諸国の最下位層に留まり続けています。教育の成果が社会を支えていくものであるならば、社会全体で教育を支えていくのは当たり前前のごとく、教育の無償化の流れを加速させねばなりません。

一方、道教委は今年度の「高校配置計画案」を出しましたが、石狩学区内の公立高校の学校規模は、最大1学年8学級、最小1学年3学級と、格差が拡大してきています。格差を放置して再編統廃合を促進するのではなく、教室配置に余裕のある学校規模へと平均化していくことは、コロナ感染対策を行うつ子どもたちの学びを保障するためにも生徒のニーズにそって多様な選択科目を展開するためにも有効です。同額の授業料を負担させている同一学区の公立高校同士で、学校規模に著しい格差を放置すべきではありません。

また道教委は「公立特別支援学校配置計画案」で、「既存施設等の活用」による狭隘化対応を相変わらず掲げました。この背景には文科省が策定中の特別支援学校設置基準案には、対応困難な既設の学校には当分の間、適用免除となる条項が含まれていることがあり、これを胡坐をかいているのでは、せつかくの設置基準が宙に浮いてしまいますし、高校の再編統廃合を促進する口実にされかねません。

私たちは今、コロナ感染症に対応して教育条件を大きく変えねばならない必然性を見出し、生徒減少期という本来的教育条件を整備する絶好のチャンスを迎えています。今年度につきましても12月までの間、皆様方のご協力をいただきながら、さらに運動を発展させていきたいと考えています。何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

みるく世(ゆ)の謳(うた)

宮古島市立西辺中学校2年 上原美春さん

12歳、初めて命の芽吹きを見た
生まれたばかりの姪は小さな胸を上下させ、手足を一生懸命に動かし瞳に湖を閉じ込めて、
「おなかすいたよ」「オムツを替えて」とカー杯、声の限りに訴える
大きな泣き声をそっと抱き寄せられる今日は、平和だと思ふ
赤ちゃんの泣き声を愛おしく思える今日は、穏やかであると思ふ
その可愛らしい重みを胸に抱き、6月の蒼天を仰いだ時、
一面の青を分断するセスナによって私の思いは76年の時を超えていく
この空はきっと覚えている、母の子守唄が空襲警報に消された出来事を、
灯されたばかりの命が消されていく瞬間を
吹き抜けるこの風は覚えている、うちなーぐちを取り上げられた沖縄を、自らに混じった鉄の匂いを
踏みしめるこの土は覚えている、まだ幼さの残る手に、銃を握られた少年がいた事を、
おかえりを聞くことなく散った父の最後の叫びを
私は知っている、礎を撫でる皺の手が何度も拭ってきた涙
あなたは知っている、あれは現実だったこと、
煌びやかなサンゴ礁の底に深く沈められつつある悲しみが存在することを
凜と立つガジュマルが言う
忘れるな、本当にあったのだ、暗くしめった壕の中が憎しみで満たされた日が本当にあったのだ
漆黒の空、屍を避けて逃げた日が本当にあったのだ
血色の海、
いくつもの生きるべき命の大きな鼓動が岩を打つ波にかき消され万歳と投げ打たれた日が本当にあったのだと
6月を彩る月桃が揺蕩(たゆた)う
忘れないで、犠牲になっていい命などあって良かったはずがない事を
忘れないで、壊すのは、簡単だという事を、もろく、危うく、だからこそ守るべきこの暮らしを
忘れないで、誰もが平和を祈っていた事をどうか忘れないで生きることの喜び、あなたは生かされているのよと
いま摩文仁の丘に立ち私は歌いたい
澄んだ酸素を肺いっぱいにとりこみ、今日生きている喜びを震える声帯に感じて決意の声高らかに
みるく世ぬなうらば世や直れ、平和な世界は私たちがつくるのだ
共に立つあなたに感じて欲しい、滾る血潮に流れる先人の想い
共に立つあなたと歌いたい、蒼穹へ響く癒しの歌
そよぐ島風にのせて歌いたい、平和な未来へ届く魂の歌、私たちは忘れないこと
あの日の出来事を伝え続けること、繰り返さないこと、命の限り生きること、決意の歌を歌いたい

6月23日、沖縄県糸満市の平和祈念公園で営まれた沖縄全戦没者追悼式で、中学生上原美春さん(13)が朗読した自作の平和の詩

教育研究全国集会オンライン中継


教育のつどい2021

またとない絶好のチャンスをのがすな!

◎開会全体集会：8月19日(木) 19:00～20:45
講演：「教育の原点とは何か」山極寿一さん
特別企画：3・11から10年

◎教育フォーラム：8月20日(金) 19:00～21:00
A 語ろう! コロナ禍の子どもたち
B タブレットがやってきた
～教育のICT化と子どもたち～
C 安心して、楽しく学べる学校の実現を
～コロナ禍のもと、ゆきとどいた教育を考える～
D 多様性って何?
～ジェンダー平等を通して考える～

◎事前登録申し込み期間
：8月10日までに
右QRコードから



いま摩文仁の丘に立ち、あの真太陽まで届けと祈る
みるく世ぬなうらば世や直れ、平和な世がやってくる、
この世はきっと良くなっていくと
繋がれ続けてきたバトン、素晴らしい未来へと信じ手渡されたバトン、生きとし生けるすべての尊い命のバトン
今、私たちの中にある暗黒の過去を溶かすことなく、
あの過ちに再び身を投じることなく繋ぎ続けたい
みるく世を創るのはここにいるわたし達だ

「みるく世」は沖縄言葉。平和な世の意

さっぽろ平和行動に参加しませんか!

◎6・9行動
8月6日(木) 13:30～14:00 地下鉄北24条駅
8月9日(日) 12:15～112:45 地下鉄琴似駅(初前)

◎原爆パネル展 12～15日 地下街オーロラコーナ

◎8.15反戦街頭宣伝(赤紙配布)行動
8月15日(土) 11:00～11:30 JR札幌駅南口広場
*市電、走れ平和号はコロナで今年も中止します。